

学校だより

R4. 2. 21 発行

清水小学校

しみず

2月

家庭数



「特別の教科 道徳」



道徳推進主任

発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」へと転換を図るものとして、「特別の教科 道徳」の実施が始まり、4年となります。児童の心に響く道徳の時間を充実させ、学校教育全体を通して豊かな心を育む道徳教育を一層推進していくことが望まれています。本校では、「心豊かにたくましく生きる清水っ子の育成」の教育目標のもと、道徳教育の重点目標を「相手に対する思いやりの心を持ち、相互理解を図りながら謙虚で広い心をもつ児童の育成」と設定し、児童とともに日々実践しています。

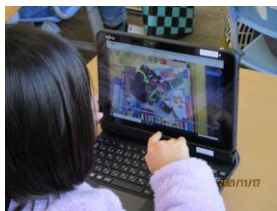
道徳教育は全教育活動の「要」と言われ、扇子に例えるなら「中心の部分」「要」の役割を果たしています。現在、新型コロナウイルス感染症が拡大し、予防の観点から児童の生活もかなり変化しています。児童一人一人の「体の健康」は何より大切ですが、併せて児童一人一人の「心の健康」も大切です。様々な活動や体験・関わりが制限されている今だからこそ、児童の心に響く「質の高い体験・活動・関わり」の場を設け「心の教育」を推進していくことが大切です。

教科化された「道徳の時間」を発信源として、児童が自分自身と向き合ったり自らを振り返ったりすることで、一人一人が自信をもって生活できるようにしていきたいと思います。そして児童自身が、問題意識をもって授業に取り組み、自らの生き方を考える・学ぶ場にしていきたいと思います。ご家庭でもお子様の姿を温かく見守っていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

ICT機器を活用した取り組み

情報主任

松山市では今月からタブレット端末の本格的な持ち帰りが始まりました。タブレットを活用することで、効率的な調べ学習や自主的な学習の後押しも可能になります。また、協働学習の際にタブレットを活用することで、より活発な意見交換やアイデア創出が期待できます。ご家庭で、子どもが一人で情報機器を使用することには大いに不安があることと思いますが、ご家庭でもルール作りや環境整備等についてご検討いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。各学年の授業や家庭学習での取り組みを紹介します。



1年生 図画工作科「すきまちゃんのすきなすきま」

すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付け、身の回りの隙間の面白さを感じる学習です。すきまちゃんが隙間にいる様子を1年生が写真に撮り、その説明を考えて下のような音声を吹き込む活動をしました。

ここは音がくはっぴょうをするステージだよ。なかまといっしょにえんそうだ。わたしはリコーダーをふくよ。ぼくはタンブリンだよ。ピープー、シャラリンシャラリン。

1年 女子





2年生 算数科「100cmをこえる長さ」

算数の学習で1m=100cmということを学習しました。そこで身の回りの長さを調べることにしました。ロッカーや黒板など1mの量感を確かめながら、長さを測定しました。今度は家の中にある家具や道具の長さを調べてロイロノートに記録し、友達に紹介しました。

わたしはじぶんのつくえの長さをはかりました。ちょうど1mとよそうしたら、1m1cmでした。おしかったです。友だちもテーブルやベッドの長さをはかっていたので、またはかってみたいです。

2年 女子

家のみのまわりの長さ
はかるもの【じぶんのつくえ】
よそう 1m
本当の長さ 1m1cm

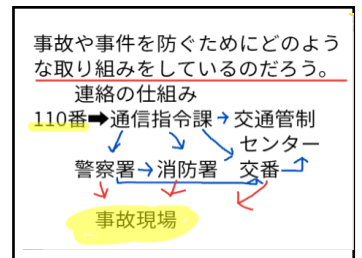


3年生 社会科「わたしたちのくらしを守る」

事故や事件からくらしを守る取組について学習した後、ロイロノートを使って分かったことや自分たちにできることをまとめて、新聞にしました。写真や図を入れるなど、それぞれが工夫をして、3枚程度のテキストにまとめて、発表できるようにしました。

ロイロノートで新聞を作ってみて、ローマ字入力もなれてきたし、まちがえても消すのがかんたんなので、早くできました。写真や図もはりつけることができるので、分かりやすくなるようにくふうして作りました。

3年 女子



4年生 理科「寒さの中でも」

理科の学習では、冬の季節の自然について学習しました。1年間観察を続けている校庭の桜の冬芽などを見つけては、タブレットで撮影しました。自分が撮影した写真を見ながら、絵や文で秋との違いを季節新聞にまとめることができました。

ぼくは冬芽を見た時に、肉眼ではあまり見られなかったけど、カメラで撮影すると、拡大できてくわしく見ることができました。春になったら花がたくさん咲いたサクラが見られるといいと思いました。

4年 男子



1月24日 発音テスト

1 1 3 5 3 0 3 5 0
7 1 6

5年生 外国語活動「What would you like ?」

外国語科の学習では、食事のメニューや値段の言い方を学習しました。「fifty (50)」と「fifteen (15)」の発音の違いを繰り返し聞いたり、話したりして区別できるようになりました。自分の発音をタブレット端末に録音し、何度も発音練習に挑戦できました。

買い物ゲームでは、オリジナルメニューを考えたり割引券を作ったりして楽しく練習することができました。「What would you like ?」や「How much is it ?」などのやりとりも繰り返すうちにスムーズに言えるようになりました。

5年 女子



6年生 国語科「伊能忠敬」

伝記の伊能忠敬を読み、人物像や人柄から学んだことを学習し、自分たちも新しい伝記を読んで、友達に紹介する形で、タブレット端末を活用して、ロイロノートでまとめました。

僕は学校でタブレットを使うときのルールをきちんと守り、勉強をするために使っています。タブレットを使うと便利だけど、使い方次第では人を傷つけてしまうということをしっかりと理解しています。印刷したり、資料を活用したりすることなどを身につけて中学校でも活用していきたいです。

6年 男子



JRC 活動へご協力のお礼

いつもJRC活動にご協力いただきありがとうございます。今年度の1円玉募金で、総額4132円が集まり、次のように送金させていただきましたのでご報告いたします。

- 7月15日 1777円は、緑の羽根募金へ
- 12月16日 1667円は、赤い羽根募金へ
- 2月14日 688円は、日本赤十字社愛媛県支部へ



清水っ子俳句広場

冬らしい遊びを楽しんだ様子、寒さをしみじみと感じている様子などが伝わってくる俳句がたくさん集まりました。

今回は、一年生、四年生の作品から、教頭先生に選んでいただきました。

【清水っ子俳句大賞】

四年



冬の朝布団がぼくをはなさない

男子

(評) さつと起きるべきであることを、ぼくは分かっている。そして、起きようとしている。でも、あたたかい布団が僕を離さないんだよね…と多くの人が共感するであろう意志の弱さを温かい布団の心地よさを前面に出し、ユーモラスに詠んでいます。

一年

ともだちといっしょに見たいふゆの月

女子

(評) 取り合わせの技法で作成したとのこと。皆さんであれば、「冬の月」にどういう単語を取り合わせ、どういう情景を詠みますか。きれいな冬の月を「友達と一緒に見たい」というかわいらしい願望に、人となり表れていますね。



【佳作】

四年

かじかむ手父が包んであたたかい

女子

雨上がりバケツにおちたオリオン座

女子

山ねむる自分も土曜まねをする

男子

冬の朝しげさうちけす池のかめ

女子

通学路みんな並んだ雪だるま

女子

一年

けんだまで小ぎらのせるよふゆの空

男子

ふゆの月あさまで見るとゆめの中

男子

りんごたべはがぐらぐらしふゆのかぜ

女子

学校でみんなでたこあげきょうそうだ

男子

ふゆがきたもうすぐわたしのたん生日

女子

☆ お知らせ ☆

○ 第五十六回子規顕彰松山市小中高校生俳句大会では、四年生の作品が特選に選ばれ、六年生、五年生、四年生の作品が入選しました。

さすが言葉の豊かな清水っ子です。おめでとございます。

